

2005・11・30

新宿区民会議・第2分科会資料

## 障害者の就労について

新宿区障害者就労福祉センター  
事務局長 矢 沢 正 春

### 1. 新宿区で暮らしている障害者は、仕事や働くことについてどんな希望を持っているのか？

- ・ 新宿区には約1万人の障害者が暮らしていて、そのうち16歳から65歳の障害者は約6,700人。障害別の構成は身体障害者が約7割、精神障害者が約2割、知的障害者が約1割です。
- ・ これらの人たちは、今はどんな働き方をしているのでしょうか？また、今後の「仕事」や「働くこと」に対する希望はどうなっているのでしょうか？ ⇒参考資料①

### 2. 企業や官公庁に課せられている障害者の法定雇用率はどの程度達成されているのか？

- ・ 企業や官公庁には法律によって社員数や職員数の一定の割合で障害者を雇用しなければならないことになっています。民間企業では1.8%、官公庁は2.1%の法定雇用率が設定されています。
- ・ それでは民間企業で雇用率を達成している企業はどのくらいあるのでしょうか？
- ・ 会社の規模が大きい大企業ほど障害者雇用に熱心で中小企業になると遅れている傾向にあるのでしょうか？また、障害者雇用が進まない原因はどこにあるのでしょうか？ ⇒参考資料②

### 3. ハローワークで職探しをしている障害者の現状はどうなっているのか？

- ・ ハローワーク新宿には、平成15年3月現在1,326人の障害者が求職者の登録をして仕事を探しています。障害の内訳を見ると約7割(951人)が身体障害者、約2割(233人)が知的障害者、約1割(142人)が精神障害者となっています。
- ・ 就職活動をしている障害者の就職活動はどうなっているのでしょうか？また、どんな会社に就職しているのでしょうか？  
⇒参考資料③

### 4. 就労支援の現場から障害者雇用を進めるために行政や住民に期待すること？

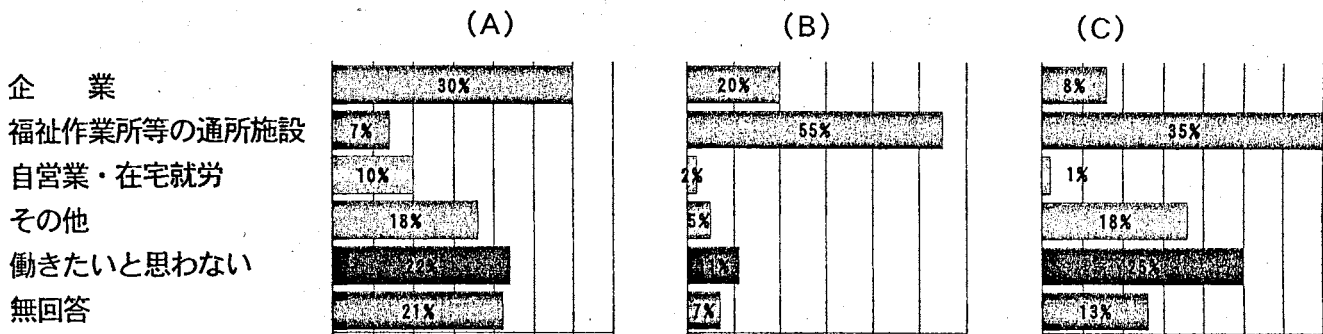
⇒参考資料④

[参考資料①]

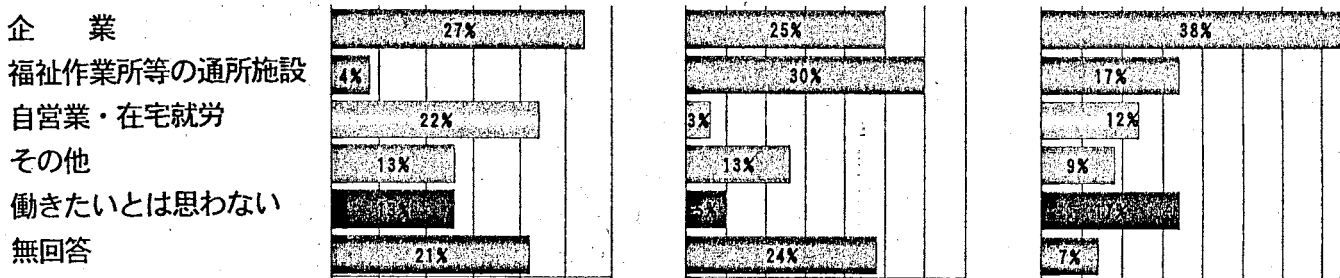
新宿区で暮らす障害者の就労状況

◎新宿区障害者生活実態調査（平成12年度）から

現在の就労状況 ～どこで働いているのか～

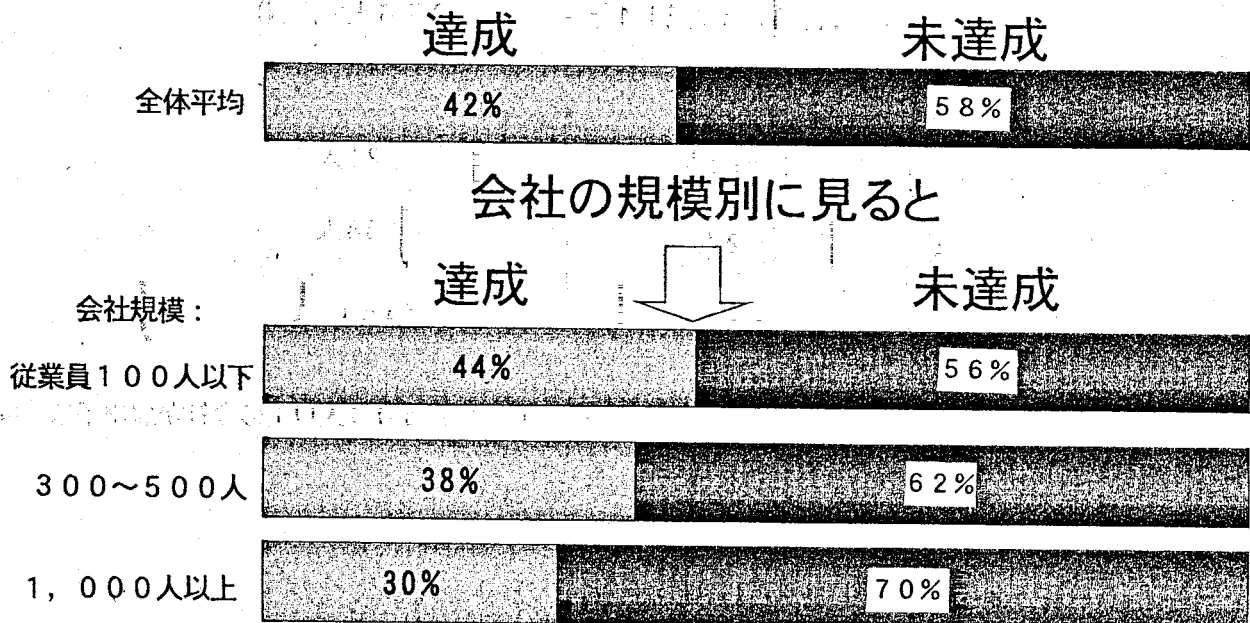


今後の就労希望 ～将来は、どこで働きたいのか～



[参考資料②]

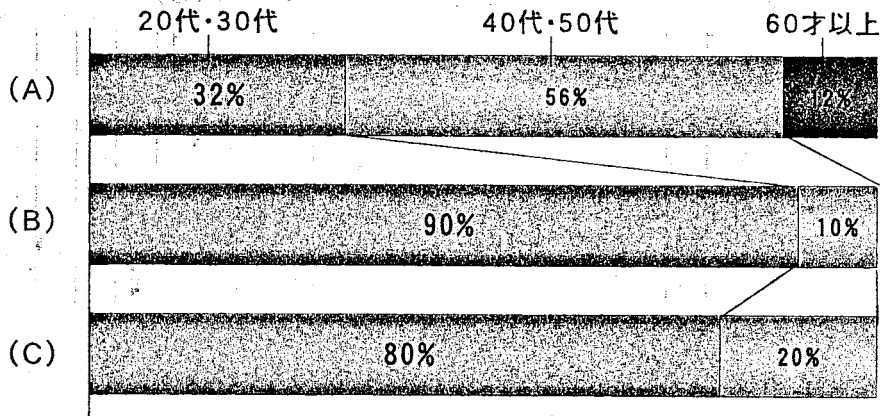
会社の規模別に見た法定雇用率の達成状況



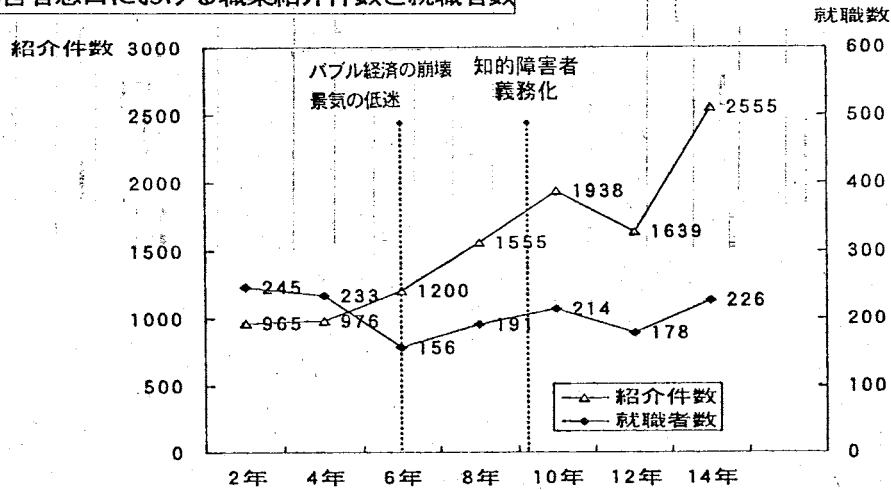
[参考資料③]

ハローワーク新宿で仕事を探している障害者

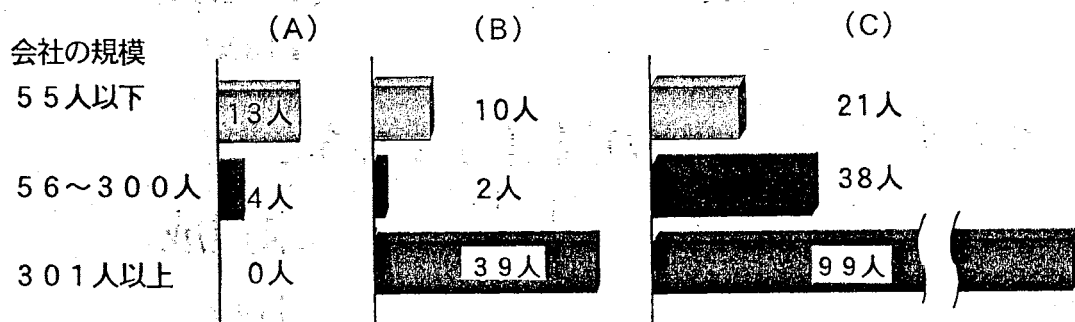
年代と障害別に見た求職者の特徴



障害者窓口における職業紹介件数と就職者数



障害別に見た就職者の就職先の特徴 (平成14年度の就職者226人の内訳)



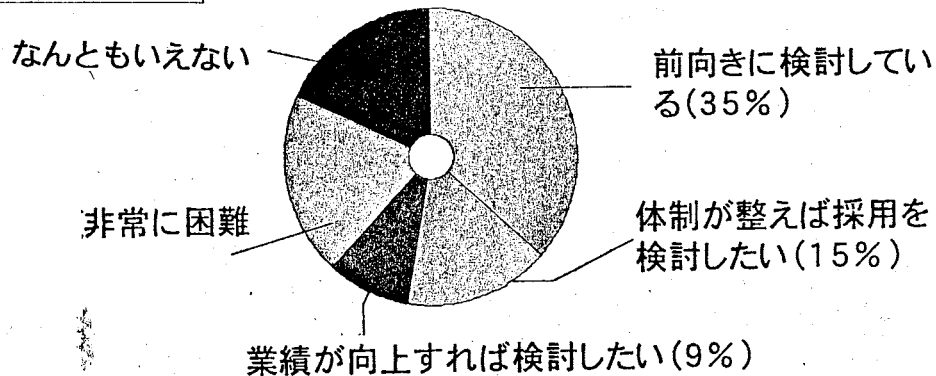
(注：55人以下の会社規模の場合は、雇用義務が生じない。300人以上の会社が雇用率未達成の場合には、不足する障害者数に応じた雇用納付金が課せられる)

[参考資料④]

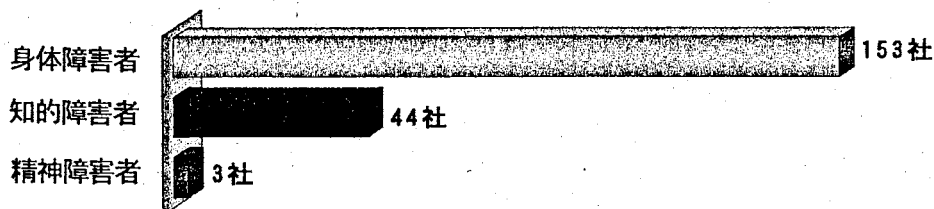
## 新宿区内の企業の障害者雇用への意欲

◎障害者に関する雇用意向調査（平成14年度）：275社が回答、うち従業員300人以上の会社が60%。

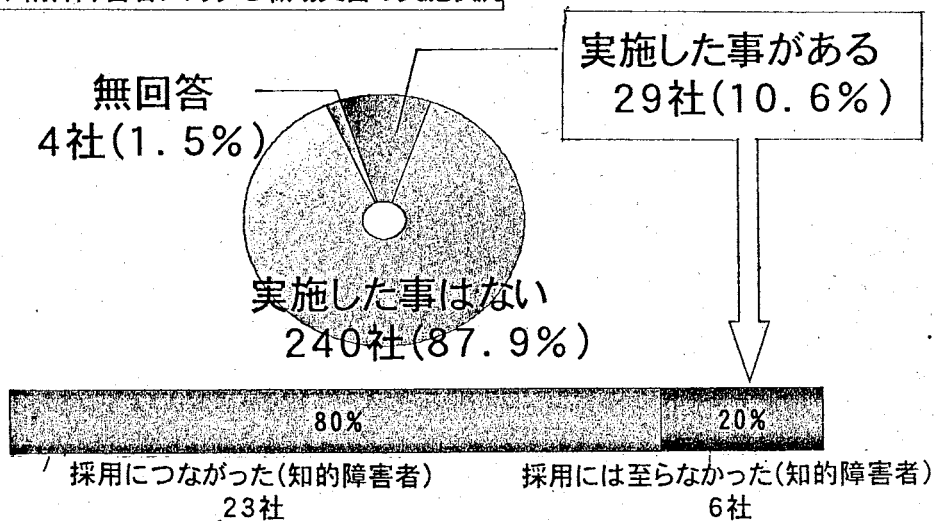
### 今後の障害者雇用の見込み



雇用するとしたら、どんな障害者を想定しているか？



### 知的障害者や精神障害者に対する職場実習の実施状況



### 企業で働く障害者と「福祉」で働く障害者

(例) 知的障害者の就労形態による収入の比較 (月額)

福祉作業所等「福祉」で働く	収入	企業で働く
約6万6000円	障害基礎年金2級 作業工賃又は給料	約6万6000円
5000円～1万円		約8万～12万円
約7万1千円～7万6000円		約14万6000円～18万6000円